

## 年頭所感



沖縄県医師会 会長 田名 毅

会員の皆様、明けましておめでとうございます。この1年が皆様にとって素晴らしい1年になりますことを心から願っております。昨年を振り返り、今年の会長としての抱負を書かせていただきます。

昨年は医療界にとって激動の1年でした。一昨年の診療報酬改定に合わせて、病院、診療所それぞれが懸命に対応し、それぞれの医療機関が収益性を保ち我々が提供したい、提供すべき医療を継続すべく取り組んできました。そのような中で参議院選挙があり、我々医療従事者の現場の声をしっかり国政に届けるために釜薙敏先生を当選させるべく医師会は病院、診療所一体となって頑張りました。その結果、自民党に逆風が吹く大変な状況の中でしたが、社会保障にかかわる団体推薦の中ではトップで当選することが出来ました。他の都道府県が前回の自見はなこ参議院議員得票数よりも票を減らすことがほとんどの中、沖縄県はわずかですが前回選挙よりも釜薙先生の票を伸ばすことが出来ました。会員の皆様には釜薙先生の後援会活動に対し、多大なご協力をいただき、この場を借りて御礼申し上げます。

そして、石破政権から高市政権に代わり、年末の臨時国会において当初から予想されていた財務省主導の医療費抑制の政策が財政審議会において片山財務大臣から発表されました。

病院をまず手厚くし窮状を救うという点は良かったのですが、診療所は高水準を維持しているという論点で加算点数を削減することを明言したのです。日本医師会に連動し、我々沖縄県医師会も自民党選出の国会議員の先生方に今の医療の現状を伝えるために各事務所を

訪ねました。上記財政審の方針を実行されると閉院する診療所が続出する可能性が高いこと、保険診療で処方している薬剤の大胆なOTC化はそれに拍車をかけることを伝えました。各議員が参加する委員会でご発言いただいたと報告がありました。この原稿が会報に掲載されて、会員の先生方の手元に届く頃にどのような政治情勢、新年度の診療報酬改定がどうなるかは予測出来ない中で原稿を書いています。事態が好転していることを心底願うばかりです。

さて、少し明るい話題を提供したいと思います。沖縄県医師会はこれからの世代を担う小中高生に医療、介護のやりがい、素晴らしさを感じてもらい取り組みを今年はこれまで以上に強化しております。3月20日に開催される「第5回うりずんフェスタ」では、こども向けに医療体験コーナーを設けるとともに、8月19日に開催される「県民健康フェア（名称変更する予定）」において、教育委員会の力をお借りしながらたくさんの親子連れに参加してもらい、上記の目的を果たしていきたいと考えています。

若い世代向けの取り組みは医学生、研修医にも実行していきます。日本医師会にて開催された都道府県医師会会長会議で山形県が医学部の学生を学生会員として登録し、医師会関連の各種講演会などに参加を促しているという情報を得ました。沖縄県医師会も早速年末の沖縄県医師会医学会で学生への参加の門戸を開き始めました。医学生の頃から医師会になじみ、各種活動に参加してもらうことで、我々の取り組みの意義を理解してもらい、医師になったら若い世代の意見を医師会活動に反映させるた

め積極的に発言ができる環境整備に取り組んでいきます。

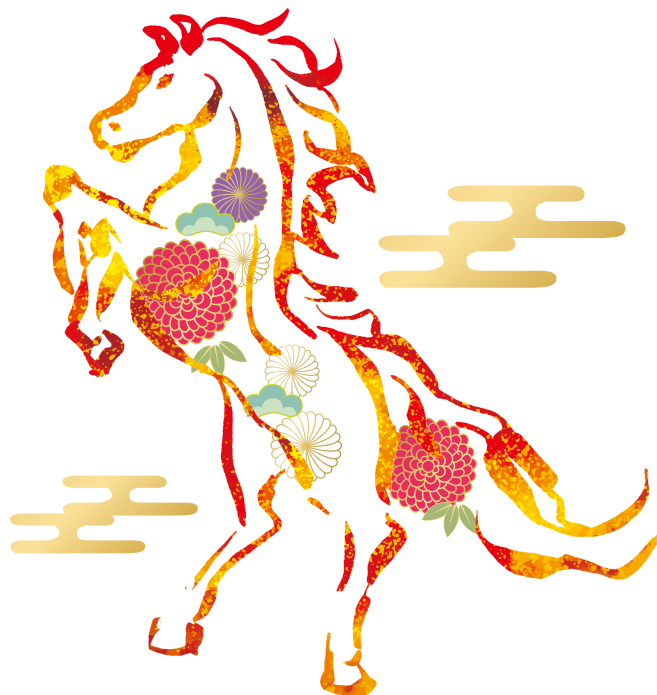
その他にこれまで水面下で準備し、今年実行される予定の取り組みを以下に箇条書きで列挙します。

- (1) スムーズな医療承継、医療人材確保（医師、病院看護師）を目指した医療人材バンクの立ち上げ
- (2) 医師会会員向け新たなサービスの強化による会員組織率の向上
  - ・医療機関のサイバーセキュリティ対策の支援
  - ・リウボウグループ医師会会員特典カード（12/10 会員宛にご案内済）
  - ・レクサス購入時の医師会会員向けサービスオプション（11/28 会員宛ご案内済）
  - ・県内一流ホテルの利用特典 等

- (3) コンビニエンスストアにおける医師会監修の特製おにぎりの開発

時代が大きく変わる中で、その時々が発生する問題に適時的確に対応出来るように、医師会役員一同力を合わせて医師会を運営していきたいと考えています。

今年度も沖縄県医師会を何卒宜しく願います。



謹んで  
初春の  
お慶び  
申し上げます